

Coptic Orthodox Patriarchate
His Holiness Pope Tawadros II
Pope of Alexandria and
Patriarch of the See of St. Mark
The Papal Center



بطيركية الأقباط الأرثوذكس
قداسة البابا الأنبا تواضروس الثاني
بابا الأسكندرية
وبطيرك الكرازة المرقسية
المقر البابوي

222 Ramses St., Abbaseya, Cairo, Egypt

ⲠⲓⲠⲓⲤⲐⲚⲓ

222 شارع رمسيس ، العباسية ، القاهرة ، مصر

Tel: 024822580

Fax: 0235365880

email: office@popetawadros.org

تليفون: 024822580 فاكس: 0235365880

Japanese – Resurrection 2026

唯一の神。父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

エクリストス アネスティ、アリソース アネスティ。キリストは復活された。実に復活された。

愛する皆様、全てのコプト正教会の皆様、世界中の修道院や修道女会の皆様、2026年の輝かしい復活祭の日にお祝い申し上げます。大司教、司教、司祭、修道院長の聖職者の皆様、また、長老の皆様、同様に助祭、司祭の皆様にお祝いを申し上げます。青年や奉仕者の方々に祝福を送ります。若者やご高齢者の皆様にお祝い申し上げます。教会、修道院、修道女会、また教区のコプト正教会の奉仕活動に従事されているキリスト教徒の皆様にお祝い申し上げます。復活祭の祝日にあたり、皆様に改めてお祝いを申し上げます。この祝日は、あらゆる喜びの喜びであり、また祝日の祝日であり、まさに私たちのキリスト教信仰の礎です。もしキリストの復活がなかったなら、私たちは、キリストを全人類の救い主であり贖い主として称えることはなかったでしょう。

私たちは、紛争や戦争が絶えない時代に生きています。人々や国を破壊し、人々や地域社会の生活に影響を及ぼす紛争は、世界中のあらゆる場所のすべての家庭にまで響いています。それゆえ、私たちの主イエス・キリストの復活によって、人は自分に欠けているものを求めます。今日の世界には希望が欠けているからです。人はどうすれば希望が持てるのでしょうか。この人生において、どうすれば希望を見出せるのでしょうか。毎朝毎晩、不安を煽るようなニュースで溢れています。私たちは主キリストの復活の中にこの希望を見出し、復活こそが、私たち一人ひとり、そして主キリストへの信仰を持つすべての人々への希望のメッセージであると信じています。

この希望を探し求めるとき、私たちは三つの側面を見出します。主キリストの復活で希望をもって生きる方法を教えてくれるものです。

主キリストの復活において、まず第一に、私たちは希望を運ぶように召されています。キリストとともに復活する者は、言葉により希望の担い手となる人生において、表現において、ビジョンにおいて、思考において、そして感情においての希望です。復活されたキリストに目を向けるとき、希望を抱きます。そして、世界は今もなお神の御手により導かれているという力強いメッセージを目の当たりにする。主キリストが日曜日の夜

明けに復活されたとき、香油を携えた女性たちは、早朝に墓へと向かいました。誰が石を転がすのかということが気がかりでした。まるで問いかけるように、この疑問が彼らの頭をよぎりました。この死んだ方の中に、希望はあるのだろうか。3日前に十字架にかけられたあの方に希望はあるのでしょうか。そのため、天使が女性たちの前に現れ、こう言った。「急いで行って、弟子たちに告げなさい。」（マタイ 28:7）こうして、彼らは力強い希望のメッセージを伝える者となりました。このメッセージにより、女性たちは恐れを抱いていた者から福音を宣べ伝える者へと変えられました。復活の知らせを弟子たちに、さらに私たちにも伝えた人たちです。

第二の側面は、人は単に希望の担い手であるだけでなく、希望の作り手でもある。他人の心に希望を植え付ける人。それは、励ましの言葉や、思いやりのある行動、あるいは訪問といった形をとるかもしれません。あるいは電話1本で希望を植え付ける。あなたの言葉を希望と結びつけましょう...生きる希望と。エマオへの道に行く二人の弟子は、エマオの村に向かって歩いていました。エルサレムから遠くない村です。道中、一人の旅人が彼らの前に現れ、話しかけてきた。そして、彼らは彼を見知らぬ人だと思った。彼らはイエスと話をしたが、それでもイエスだと気づかなかった。彼らの会話は、すべて疑問で満ちていた。「一体何が起きたのか。」これはどういうことでしょうか。弟子たちは、十字架にかけられた方がよみがえったと言っています！彼ら全員に、矛盾した情報が飛び込んでいた。しかし、その旅人が近づいて彼らに話しかけると、彼らはまだそれをうまく言葉にできなかつたが、心の中で何かを感じ始めた。しかし、その場所に近づき、イエスがパンを裂いたとき、彼らの目が開かれ、こう言った。「私たちの心は、道中、燃え上がっていたではないか。」（ルカ 24:32）彼らは心の中で何かを感じた。まるでこの見知らぬ旅人がキリストであるかのように、彼らの心に希望を植え付け、それを彼らの生活の中に根付かせた。同様に、愛する皆さん、ご家庭の中で希望を築き上げてください。配偶者や、息子や娘たちと一緒に。そして、奉仕に携わる皆さん、あらゆる奉仕の現場において。そして、司祭の方、あなたが奉仕し説教をする間、ご家庭を訪問する際も、他者のケアを行う際も希望を育んでください。悩みばかりを口にする人たちの話には加わらないでください。対立やニュースではなく、むしろ希望を築いてください。

したがって、第一に、希望の運び手となりなさい。第二に、希望の作り手となりなさい。

そして第三に、希望の宣教者となりなさい。

なぜなら、宣教とは、その基本において、喜びのメッセージであり、キリストの復活を伝えることである。「福音」という言葉は、良き知らせ、すなわち喜びの知らせ、あるいは英語で言うところの「グッドニュース」を意味する。それは、キリストの復活を通して希望を運ぶ知らせです。周囲の人々に希望を植え付けた後、全世界の人々に向けて希望の説教者となりなさい。弟子たちは恐れており、上階の部屋は閉ざされ、しっかりと鍵がかけられ、彼らは不安でいっぱいだった。しかし、キリストが現れて、「あなた

がたに平和があるように」と言われたとき、弟子たちは主を見て喜びに満たされた（ヨハネ 20:20）。この光景は実に素晴らしいものでした。十字架処刑の後で恐れていた者たちが、キリストが現れたとき、キリストの平安を受け入れました。そして、喜びと希望を全世界に運び、各国の宣教者となりました。キリストは、「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」と仰せになった。こうして、弟子たちは希望の運び手となりました。主イエス・キリストの昇天と聖霊の降臨の後、エルサレムから出発した弟子たちは、宣教者となり、復活されたキリストを全ての人に告げ知らせるようになった。すなわち、キリストは全ての人をあらゆる罪から救われる。贖い主キリストの御血は、全ての人を生涯を罪から清めます。

愛する皆様、復活祭を祝うにあたり、この希望の運び手、希望の作り手になり、そして、この希望を宣べ伝える者となってください。これが常にあなたの人生のあり方となりますように...復活の喜びを

あらゆる場所にいる全ての人々が、主キリストの復活を単なる知らせとしてではなく、生活の中で喜び祝うことができるよう祈ります。晩禱で唱えるように、「光の子らよ、起きよ。万軍の主を賛美しよう」。光の子らとは、復活の子らです。改めて、御復活の祭典を祝うコプト教会の愛する皆様に、お祝いの言葉を申し上げます。皆様に祝福を送るとともに、世界が平和のメッセージ、愛のメッセージ、そして希望のメッセージで満たされますよう祈ります。神があらゆる場所を悪と戦争から守り、各地の指導者に力、知恵、識別力、そして、健全な判断力を授けてくださるよう祈ります。

エジプト、カイロのアッバシヤにある聖マルコ大聖堂から、皆様への愛と祝福をお送りします。ここエジプト、そしてアレクサンドリア教区全体の人々の愛を皆様にお届けします。

エクリストス アネスティ、アリソース アネスティ。キリストは復活された。実に復活された。

Samadros II